



2021
No.358

1

月号

2021年1月19日発行
■発行責任者/佐藤幸雄 ■編集・制作/(株)プロトリオス
■発行/(株)NGP 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F TEL03(5475)1200

定価/1部30円

News

全国整備工場の皆様へ
NGP組合員200拠点がお届けする
お役立ち情報

令和3年 年頭のご挨拶

お客様から、そして社会から選ばれる NGPグループであり続けるために 全組合員一致団結して困難を乗り越えて参ります



NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合
理事長 佐藤幸雄

新年、明けましておめでとうございます。
年頭にあたり、新年のお慶びを申し上げます。
また旧年中は、NGP組合事業活動に
多大なるご協力を賜り、改めて感謝申し上げ
ます。

昨年は、2020年の今年の漢字である
「密」が示す通り、新型コロナウイルスに
振り回された年となりました。ソーシャル
ディスタンスやマスクの常用をはじめ、
withコロナは生活の隅々に変化を与えま
した。我々自動車リサイクル業界におい
ても、緊急事態宣言下で感染対策を施し、感
染拡大に留意しながらも、国全体の自粛を
受けた新車販売激減による使用済自動車引
取台数の減少、自動車が走らなくなったこ
とによる事故減少及びリサイクル部品利用
機会の減少などが顕在化しており、先行き
が憂慮されております。直近の実績では、
緊急事態宣言下ほどの下落幅はありません
が、感染も拡大傾向にあり、引き続き新型
コロナウイルスの影響は楽観視できる状況
ではありません。

また、昨年は残念ながら自然災害の猛威
もありました。NGP協同組合では、九州
地方を中心に大きな被害をもたらした令和
2年7月豪雨を受け、2020年7月4日に
対策本部を設置。7月9日に熊本県人吉市
に人吉ヤードを、15日には福岡県筑後市
に長浜ヤードを設置し、被災車両の引き取
りを行いました。コロナ禍という厳しい環
境下での作業となりましたが、NGP九州
支部組合員の全面協力のもと、感染防止対
策を徹底して作業に当たり、約900台の
車両の撤去を行うことができました。ご協

力いただいた皆様には心から御礼を申し上
げます。

「令和」の世になって二年が経過し、自
動車業界も新たな時代を迎えようとしてい
ます。日本政府はガソリン車の新車販売を
2030年代半ばに禁止する方向で最終調整
に入ったことが、報じられました。欧州を
中心に海外では2030年を目途にガソリン
車の新車販売を禁止することが決まってい
ますが、日本もそれに追随する形です。化
石燃料で走行する車両を禁止にする理由は、
2050年までに温室効果ガスの排出を全体
としてゼロにするという考えを、日本政府
が示していることが挙げられます。自然災
害は日本国内だけではなく、世界各地にお
いて増え続けています。そして自然環境や
人々の暮らしにも重大な問題を引き起こし
ている原因が、二酸化炭素を始めとした温
室効果ガスだと言われています。

NGPグループでは一昨年度にSDGs宣言
を行いました。今年度は組合員会社が
SDGs宣言を行い、自動車リサイクルを通
じて誰しもが幸せに暮らせる世の中を作り
上げることを目指しています。日本政府が
目指す社会、SDGsが目指す社会を達成す
るには、組合員会社各社が出来ることから
取り組みを始め、継続してゆくことが重要
です。その積み重ねにより「美しい地球を
次の世代に引き継ぐ」ことに繋がってゆく
と考えます。

また、廃車買取サービス「廃車王」に関
しては、これまでTVCM等で培ってきた認
知度を活かした積極的なWEB戦略を展開
しています。引き続きWEB戦略との相乗効

果を発揮させるためにも、組合員各社での
PR活動を推進していききたいと思います。

自動車リサイクル業界は、コロナ禍以前
よりASR処理の問題、急激な事故修理の
減少、物流費の高騰、少子高齢化による人
材確保の問題など、数多くの難題に直面し
ております。鉄、非鉄の市況価格に関して
は急騰しておりますが、この状況がいつま
で続くかはわかりません。

今後はより一層リサイクル部品市場が厳
しくなると想定されることから、NGPと
しては事業の多角化を推進しております。
新たな事業の柱としてだけではなく、お客
様へのサービス強化につながると考えてお
ります。

リサイクル部品市場においては、質の良
い部品取り車両の確保、また生産した部品
を素早く販売する為に販売機会を拡大して
いくことが、非常に重要だと考えています。
NGPグループの強みである商品品質、部品
販売力、車両仕入れ、そして全国ネットワ
ークを活かした戦略を検討し、スピード感
をもって実行していきたいと考えています。

新型コロナウイルスにより世界が一変し、
より困難な大きな壁が次々と立ちちはだか
ると予想されますが、全組合員が一致団結し
乗り越えていきたいと思っています。

創立者大石一彦氏が掲げた三大信条の理
念に基づき、お客様からも選ばれ続け、そ
して社会からも選ばれ続けるNGPグルー
プであり続けたいと強く思います。

最後に、感染には引き続きご留意頂き、
皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し
上げ新年の挨拶とさせていただきます。

nano tech2021、開催

「nano tech 2021 第20回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議」が12月9～11日の3日間、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催されました。

「新しい社会変化を支えるナノテクノロジー」をテーマに、抗菌・抗ウイルスや5G、DX（デジタルトランスフォーメーション）などに関する最新技術を紹介。自動車関連では、脱炭素、軽量化、自動運転といった注目度の高い分野の技術・サービスが多数出品されました。

そのほか「ASTEC2021 第16回先端表面技術展・会議」、「SURTECH2021 表面技術要素展」などを併催し、合計で672

社（769小間）が出展。3日間で10,615人が来場しました。

なお、1月15日までオンラインによる展示も行っており、各社の出展情報閲覧、セミナー視聴、事前商談予約などができます。



新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）は、航空機を製造する際に発生した端材を利用した炭素繊維を出品。車の軽量化を図るため、エンジン部品などに使用することを提案した



日研工業所は、UV硬化型ヘッドライトコート及びパテ、UV-Aを発するLED照射機を展示。そのほか抗菌作用のある「バイオコート」、抗菌・防カビ効果を付与する「バイオコートsystem」などの各種コーティングサービスも訴求した



日本ジェット・オンは、窒素を利用したイタリア製の塗装システム「ナイトロサーモスプレー・システム」を紹介。塗料の使用量削減につながるほか、塗りムラやオーバースプレーを抑制して仕上がりも向上させる

塗料・塗装・樹脂素材などの最先端技術を提案

第11回 高機能素材Week、開催

塗料や樹脂、接着・接合などに関する総合技術展「第11回 高機能素材Week」が12月2～4日の3日間、幕張メッセ（千葉県千葉市）で開催されました。

自動車補修用を含む塗料・塗装技術や、自動車の電動化・自動化に対応した素材をはじめ、各種業界の課題解決に貢献する最新技術が披露されました。

同展は「第20回 Photonix」、「第30回 ファインテック ジャパン」と同時開催され、来場者数は全展・3日間合計で18,048人になっています。



アネスト岩田は静電分裂で高帯電霧化粒子を作り、静電気力で被塗物に塗着させる、エアレス塗装技術「EAコーティング」を紹介。高い塗着効率や、従来の塗布技術では難しかった部位に対する有用性をPRした



イサム塗料は、大型車荷台木部保護用塗料「ウッドプロテクト」と環境対応型厚膜防錆塗料「ハイアートCBエコ防錆コート」を塗布した実車を展示。光硬化型パテ「ライトアップPlus」の解説動画なども注目を集めた



BASFジャパンは、電池パックの熱連鎖を防止する断熱材や、電波の透過・反射・吸収に対応する各種素材など、自動車の電動化・自動化に対応した技術を紹介。そのほか幅広い業界で活用可能な製品・技術が披露された

NGP 今月のCO₂削減量



リユース部品利用に伴うCO₂削減量

令和2年11月： **2,364t**

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90品目（左右ある部品を含む）115品目を対象に算出した数値です。



リターナブル梱包材利用に伴うCO₂削減量

令和2年11月： **1.2t**

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

NGP組合員 かわら版

吉田商会、「豊橋市SDGs推進パートナー」に 自動車リサイクル事業の内容・ 社会的役割を広く社会へ発信

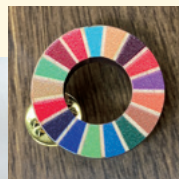
NGP組合員の（株）吉田商会（吉田恭平社長、愛知県豊橋市）は、豊橋市が推進する「豊橋市SDGs推進パートナー」に認定されました。

同制度は、豊橋市と登録企業・団体が、それぞれの有する資源や知見などを生かし、共に目指すゴールや豊橋市の地域課題の解決に向けて連携し、持続可能な取り組みや活動を推進するとともに、SDGsの普及啓発を図ることを目的としたものです。

吉田商会は、NGP協同組合の活動などを受けてSDGsに取り組むことを決定し、2020年の1月には自社のWebサイト内に目標と活動内容を紹介する特設ページを設置しています。

吉田社長は、「Webサイトで紹介しているSDGsの取り組みは、その概念が提唱される前から、私たちが行ってきたことです。昨今の新型コロナウイルスの感染拡大を受けてエッセンシャルワーカー

（社会生活を営むうえで必要不可欠な仕事に従事している人たちが）が注目されていますが、我々自動車リサイクル業もその一つです。SDGsの取り組みを紹介することで、私たちの事業内容を広く社会に認知してもらい、業界の地位向上につなげていきたいと考えています」と、今後もSDGsの活動を継続し、その実績をPRしていくことが重要だとコメントしています。



間伐材で作られた「豊橋市SDGs推進パートナー」登録証とピンバッジ



吉田恭平社長

2030年に向けた 吉田商会の目標

2005年1月に施行された自動車リサイクル法「使用済自動車の再資源化等に関する法律」を順守し、使用済自動車の適正処理、自動車部品のリユース、自動車に使用されている素材の再資源化等によるゴミ等の廃棄物を抑制することで環境負荷を低減します。

2030年までに5万台の使用済自動車を適正処理し、20万点のリサイクルパーツを生産することで環境負荷を低減し、持続可能な社会の実現に貢献します。

西日本オートリサイクル、高校生の見学を受け入れ

自動車リサイクル事業のSDGsへ向けた取り組みを紹介

NGPの組合員である西日本オートリサイクル（高野博範社長、福岡県北九州市）を、福岡県立小倉高等学校の1年生20人が10月13日に訪れ、SDGs（持続可能な開発目標）に向けた同社の取り組みなどを見学しました。

北九州市は以前より環境問題に積極的に取り組んでおり、同社も学生や一般の方の見学受け入れなどを通じて、その活動を支援してきました。さらに同市は2018年にSDGsに向けて取り組む、またはSDGsに関心がある団体・企業・個人などが参加できる組織「北九州SDGsクラブ」を創設しています。同社も2019年から同クラブに加入しており、今回の見学会は市の担当者からの要請を受けて実現しました。

見学会ではSDGsをテーマとして、自動車リサイクル・リユースの工程や、自動車リサイクル事業者の資源循環に向けた取り組みとともに、同社スタッフの仕

事に対する姿勢や思いについても紹介されました。閉会の挨拶に立った高野社長は「大量生産、大量消費、大量廃棄の社会では、資源消費による環境負荷が発生してしまいます。経済を回すことは必要ですが、大量廃棄については見直していかなければなりません。私たちは、この課題に引き続き取り組んでいきます。また皆さんも日々の生活の中、そして将来社会に出たときに、この課題解決に向けていっしょに取り組んでいただければ嬉しいです」と、高校生たちに呼びかけました。



NGPのSDGs委員長も務める高野社長は「我々自動車リサイクル事業者は、循環型社会の構築になくてはならない存在です。廃車王などの取り組みを通じてNGPの認知は進んできているので、さらに我々が資源循環にどのように貢献しているのかをしっかりと訴求していきます」と、個社そしてNGPとして使用済自動車の適正処理と地球環境保護に継続して取り組むとともに、その役割及び活動をしっかりと社会に発信していくことが重要だとして、今後も各種活動を推進していく姿勢を強調しました。



NGP組合員 かわら版

桃太郎部品、 瀬戸内オリーブ基金より感謝状を拝受

NGP組合員の(株)桃太郎部品(岸本恭秀社長、岡山県岡山市)は11月21日、瀬戸内オリーブ基金が岡山国際交流センター(同市)で開催した「オリーブフォーラム2020in岡山・創立20周年式典」に出席し、感謝状を拝受しました。

NGPではSDGsの取り組みの一環として、同基金協力のもと香川県豊島の環境

保全・再生活動に取り組んでおり、岸本社長もその活動に参加してきました。今回の感謝状は、同基金の担当者から島内の移動に使用する自動車を探していることを聞いた岸本社長が、「廃車王」で買い取った車両を寄贈したことに対するものです。

NGP廃車王委員会の委員長も務める

岸本社長は、「豊島での活動を通じて、産廃撤去後も土壌汚染の浄化にはさらに時間が必要なことを知り、瀬戸内オリーブ基金の活動支援及び環境再生に貢献したいという思いが強まりました。今後も何か力になれることがあれば、微力を尽くしたいです」と、今後に向けた思いを述べています。



瀬戸内オリーブ基金へ寄付金目録を贈呈

NGP協同組合は昨年に引き続き、瀬戸内オリーブ基金に寄付金目録を贈呈しました。寄付金は佐藤幸雄理事長の代理として、鈴木成幸専務理事から同基金の岩城裕理事長に直接手渡しされました。

NGPは2019年に宣言したSDGsへの取り組みの一環として、廃車買い取りサ

ービス「廃車王」で引き取った車両台数や、NGPで販売したリサイクル部品の利用によるCO₂削減量に応じて同基金へ寄付するとともに、「廃車王」全加盟店に募金箱を設置しています。

NGPでは、国内最大級の産業廃棄物不法投棄事件「豊島事件」の悲劇を二度



と繰り返さないために、今後もオリーブ基金の活動を支援し、豊島の環境保全・再生に貢献してまいります。

NGPニュース

アンケート ご協力をお願い

今後もより良い情報をお届けするために、皆さまのご意見をお聞かせください。

① NGPニュースは読んでいますか？

・毎月読んでいる ・時々読んでいる ・あまり読まない ・読んだことがない

② ①で「毎月読んでいる」「時々読んでいる」と答えた方にお聞きます。NGPニュースの満足度をお聞かせください。

・大変満足 ・満足 ・不満 ・大変不満

③ ①で「あまり読まない」「読んだことがない」と答えた方は、その理由をお聞かせください。

・読む時間がない ・必要な情報がない ・内容がつまらない ・他からの情報で十分 ・情報が多すぎる ・その他()

④ ②で「大変満足」「満足」と回答された方は、どんなところに満足されていますか？

()

⑤ ②で「不満」「大変不満」と回答された方は、どんなところに不満を感じていますか？

()

⑥ NGPニュースの改善点や要望があればお聞かせください。

()

⑦ お客様の性別をお教えてください。

・男性 ・女性

⑧ お客様の年代をお教えてください。

・20代以下 ・30代 ・40代 ・50代 ・60代 ・70代以上

ご回答方法

本紙にご回答を記入しFAXにてお送りいただくか、QRコードからアンケート用特設サイトにアクセスし、ご回答ください。

FAX番号: 03-5475-1209 Web回答はこちら→



訃報

令和2年12月1日、オレンジパーツ平成(静岡県静岡市葵区)代表取締役 松山 稔様の御尊父様・同社取締役会長 松山 茂(まつやま しげる)様のご逝去されました(満75歳)。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
<https://www.ngp.gr.jp/>

株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201
<https://www.ngp.co.jp/>



FSC® 森林認証紙、ノン VOC インキ(石油系溶剤 0%)など印刷資材と製造工程が環境に配慮されたグリーンプリンティング認定工場にて、印刷事業において発生するCO₂全てをカーボンオフセット(相殺)した「CO₂ゼロ印刷」で印刷しています。